組織基盤強化の意義

―2016年1月 Panasonic NPOサポートファンド贈呈式より

第三者による組織診断で課題を明確化することが大切

日本NPOセンター常務理事 田尻 佳史 さん

NPOサポート ファンドには、NPO/NGOの組織の基盤強化を応援するという大きな特徴があり、10年以上の歴史の中にたくさんの経験値が蓄積されてきたプログラムです。組織運営において課題に悩んでいる団体は、まず組織診断を受けてみてください。第三者が診ることによって、自分たちの予想とはまったく違う課題が浮き彫りになることがあります。まずは、①課題を明確に見つける、②課題を解決するための道筋をつけていく。この2つをぜひ実践していただければと思います。

組織基盤強化に取り組むことで覚悟も成長もできる

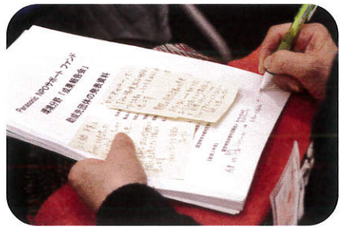
自然再生センター理事・事務局長 小倉 加代子 さん

私たちは中海・宍道湖を豊かで遊べる環境にするためさまざまな活動を行っています。助成1年目の昨年は、組織診断と中期目標の策定を中心に、目指す未来に向けた体制づくりに取り組みました。まず、外部の専門家に組織診断を依頼したところ、理事会の運営方法の改善点や資金調達、広報にも注力する必要がある点などの指摘がありました。この1年、議論を重ねながら周囲を巻き込んで改革を進めました。組織基盤強化を1年間続けるなかで、覚悟が芽生え、成長を実感しています。

助成先団体から寄せられた感想・コメント

― 2016年2月 成果報告会より

- 組織課題は、自団体内で把握できていると思いがちですが、第三者の組織診断を受けると、根源的な課題に立ち返ることができ、自己改善力が向上します!
- 組織として第三者に診断されることをためらわれる団体もあろうかと思いますが、是非チャレンジを!



- マネジメント・PDCAサイクルなどの定着により事業のスピード、質が向上し組織力全般が向上しました。
- 外部の意見を聞いて、自分達の目指していたものが明確になったことで、NPOとして活動していく意味を再確認することができました。

組織基盤強化 ワークショップ 2016

Panasonic NPOサポート ファンドの公募説明会も兼ねて、5月、6月に全国6ヶ所で「組織基盤強化ワークショップ」を開催します。組織基盤強化の意味や意義についての座学や、組織基盤強化に取り組んだ団体の事例を学び、ご自身の団体の組織課題について深く掘りさげる半日のワークショップです。関心のある方はホームページをご覧のうえ、申し込みください。

開催地 ○東　京　○北海道　○岩手県
○兵庫県　○愛媛県　○宮崎県

主催: パナソニック㈱、認定NPO法人 日本NPOセンター

ウェブサイト

Panasonic NPOサポート ファンドのさまざまな関連情報をホームページに掲載しています。
○募集事業概要 ○応募状況 ○助成先一覧 ○助成先推薦理由 ○選考総評
○事例レポート ○フォーラムなどのイベントレポート ○事業評価 など

http://www.panasonic.com/jp/corporate/sustainability/citizenship/pnsf.html

FSC ミックス 責任ある木質資源を使用した紙 www.fsc.org

Panasonic

Panasonic NPOサポート ファンド

2016年募集 | 応募受付期間 2016年7月14日(木)～29日(金)必着

NPO/NGOの持続的な発展のために組織基盤の強化を応援します

環境分野
環境問題に取り組むNPO/NGO

＋

子ども分野
子どもたちの健やかな育ちを応援するNPO/NGO

http://www.panasonic.com/jp/corporate/sustainability/citizenship/pnsf.html

A Better Life, A Better World の実現に向けて

パナソニックは持続可能な社会を目指し、「より良いくらし、より良い世界」～「A Better Life, A Better World」の実現に向けて取り組んでいます。
企業市民活動においても「A Better Life, A Better World」を実現するべく、「環境・エネルギー」「次世代育成」を社会課題解決における重要なファクターと位置付け、NPO/NGOの皆さまとも積極的に協働しながら、グローバルに活動を展開しています。
パナソニックは、NPO/NGOがより戦略的に社会課題の解決をはかるには、その組織基盤強化が重要であるとの認識のもと、2001年に本ファンドを設立し、以来、環境や子どもたちの育成をテーマに活動するNPO/NGOに対し、累計で280件3億5千万円の助成をしてきました。
2016年募集事業の助成テーマは、「客観的な視点を取り入れた組織基盤の強化」です。国内で先進的な取り組みを行うNPOや、新興国・途上国で活動するNGOが、第三者の多様で客観的な視点を取り入れて、組織運営上の課題を解決する取り組みを応援します。

2016年3月
パナソニック株式会社

助成プログラムの仕組み

第三者の多様で客観的な視点を取り入れた組織基盤強化の一連の取り組みを応援します。
以下の【1】と【2】の連続した取り組み、または【1】、【2】のみの取り組みでの応募が可能です。

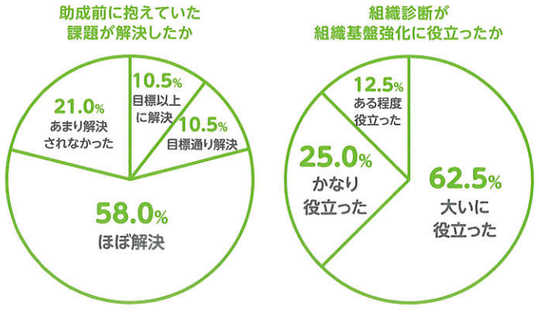
助成事業のスケジュール

有効性の調査レポート

組織基盤強化の取り組みにより、事業のアウトカム・インパクトが増大

- ○ 助成前に抱えていた課題が、各団体平均**82.1%**解決した
- ○ **81.3%**の団体で受益対象者が拡大した
- ○ **87.5%**の団体が社会課題の解決に対して影響を与えた
- ○ **62.5%**の団体が、他団体や企業などの行動に影響を与えた

2013年にPanasonic NPOサポート ファンドの助成事業を受けた団体の事業評価より



2016年募集概要

ご応募の際は、必ずホームページに掲載している応募要項をご覧ください。
応募要項は、パナソニックのホームページで4月15日(金)よりダウンロードできます。

	環境分野	子ども分野
助成対象団体	環境問題に取り組み、 強い市民社会の創造を目指すNPO/NGO	子どもたちの健やかな育ちを応援する 新しい社会の創造を目指し、先駆的な活動と 自己変革に挑戦するNPO/NGO
	○ 団体設立から3年以上であること ○ 日本国内に事務所があること ○ 有給常勤スタッフが1名以上であること	※ 財政規模1000万円以上の団体を想定していますが、要件ではありません
助成対象事業	**第三者の多様で客観的な視点を取り入れた組織基盤強化の一連の取り組みを最長3年まで応援します。** 以下の【1】と【2】の連続した取り組み、または【1】、【2】のみの取り組みでの応募が可能です。 【1】組織診断フェーズ 第三者による組織診断の実施と組織課題の抽出、第三者の力を借りて組織基盤強化計画を策定 【2】組織基盤強化フェーズ 第三者の力を借りて組織基盤強化計画を具体化、実行、評価 ※ 第三者とは、応募団体が選定するNPO支援機関やNPO経営支援の専門家等のことを指します	
助成金額	1団体への上限**200万円**。ただし【1】組織診断フェーズのみの取り組みの場合は上限**100万円** ※ 助成対象経費は、コンサルティング費用、事務局経費(人件費含む)、旅費交通費など組織基盤強化の取り組みに必要な経費 ○ 助成総額は、「2016年新規助成」「継続助成」あわせて、環境分野1,500万円、子ども分野1,500万円、合計3,000万円	
助成事業期間	2017年1月1日～ 2017年12月31日	
応募受付期間	**2016年7月14日(木) ～ 7月29日(金)必着**	
応募要項および応募用紙のダウンロード	4月15日(金)から下記URLでダウンロードできます。 http://www.panasonic.com/jp/corporate/sustainability/citizenship/pnsf.html ※ダウンロードできない場合は、下記協働事務局のNPOまでメールまたはFAXでお問い合わせください	
お問い合わせ ご相談・お問合せは「応募要項」「応募用紙」をご覧のうえ右記事務局まで 月曜～金曜 10:00～17:00 メールか電話で	環境分野協働事務局 **特定非営利活動法人 地球と未来の環境基金** 〒101-0041 東京都千代田区神田須田町2-2-5 CTNビル3階 TEL: 03-5298-6644 FAX: 03-3255-2202 URL: http://www.eco-future.net 担当: 美濃部・木村 E-mail: eff-spf@eco-future.net	子ども分野協働事務局 **特定非営利活動法人 市民社会創造ファンド** 〒103-0012 東京都中央区日本橋堀留町1-4-3 日本橋MIビル1階 TEL: 03-5623-5055 FAX: 03-5623-5057 URL: http://www.civilfund.org/ 担当: 坂本・武藤 E-mail: kodomo@civilfund.org
	パナソニック株式会社 ブランドコミュニケーション本部 CSR・社会文化部 担当: 東郷 〒105-8301 東京都港区東新橋1-5-1 パナソニック東京汐留ビル TEL: 03-3574-5665	